別　紙

平成 15 年 3 月 27 日

南部町・南部川村合併協議会
会長　山　田　五　良　殿

新町の名称に関する専門委員会
委員長　　立　田　圭　一　郎

新町の名称に関する専門委員会報告（第 2 号）について

南部町・南部川村合併協議会専門委員会規程第 8 条の規定に基づき、別添のとおりご報告いたします。

報告事項

１.　協議経過

２.　新町の名称に関するアンケート結果について

３.　新町の名称選定における専門委員会での協議内容について

新しい町の名称選定について

１．協議経過

平成 14 年 12 月 11 日　第 1 回新町の名称に関する専門委員会
名称の選定方法について

平成 15 年　1 月 15 日　第 2 回新町の名称に関する専門委員会
名称に関するアンケートについて

平成 15 年　1 月 23 日　第 3 回新町の名称に関する専門委員会
協議会への報告について

平成 15 年　1 月 23 日　第 3 回南部町・南部川村合併協議会
選択式アンケート実施が承認される

平成 15 年　2 月 11 日～　アンケート用紙の配布開始
両町村の区長に依頼

平成 15 年　2 月 28 日　アンケート締め切り

平成 15 年　3 月　3 日　アンケート集計作業開始

平成 15 年　3 月 10 日　第 4 回新町の名称に関する専門委員会
アンケート結果について
新町の名称選定について

２．新町の名称に関するアンケート結果について

別添　新町の名称に関するアンケート集計票　参照

３．新町の名称選定における専門委員会での協議内容について

専門委員会での意見

◎アンケートの回収率が 39.8 パーセントだったことについて

- 「南部（みなべ）」の文字を残したいという思いが住民に浸透していたため、名称が大きく変わることはないという判断から、アンケートの回答に消極的になったのではないか。
- 当初から「南部（みなべ）」になるのでは、という見方も住民の間で広がっていたからだと思う。
- 南部町と南部川村の合併では、名称問題でもめることはないという考えもあったようだ。

◎アンケート集計結果をについて

- 当然の流れで「南部（みなべ)」が多かったが、梅をさらに売り出すチャンスと考えて名前を変えようという人もいる。そのことも考えるべきかどうか。
- 今までの努力で「南部（みなべ)」の名を全国に広げていっている。
- 南部の梅も全国でも「みなべのうめ」と読んでくれるようになってきた。
- 梅産業の振興は新しい町でどれだけ取り組むかの問題。名前より後の努力だと思う。
- 「南高町」など、他産業もある中で、そこまで梅にこだわる必要があるのか。
- 梅にこだわった名前など、自由な発想での意見・理由は今後のまちづくりに活かしていったらいいと思う。

アンケート結果でも回答者のうち「南部町」と「みなべ町」の名称で約 6 割を占めることから、住民の意向と合併協議会の共通認識が一致するものと判断しました。

以上のことから、専門委員会では漢字の「南部」か平仮名の「みなべ」に絞って議論しました。

◎「南部」「みなべ」漢字か平仮名かについて

- 平仮名では、何か少し重みがない。漢字の「南部」だけでは合併しましたというインパクトがない。
- 奇抜な名前を付けたらマスコミが取り上げてくれると思うけど、小手先でつけた名前で、果たして目的とする効果が現れるものなのか。アンケートの意見にもあるように、100 年先を考えたら、新しい名前にするのではなく、やはり伝統のある名前を尊重していくことが大事だと思う。
- 伝統ということになれば漢字の「南部」。どのような意味で「南部」と名づけられたかは歴史的にはまだ解明されていないが、紀州の南の方で海辺の町、そんな意味かなと思う。また、「南部」を（みなべ）と呼んでもらうことに今まで努力してきたということもある。
- 今は平仮名志向というか、漢字離れが全般的にあるように思う。書きやすさ、やわらかさ、（なんぶ）と読まれないなどの理由だろう。また、合併するのだから新鮮味を持たせようとの考えもあろう。
- 「南部町」では、何か町の方へ行ってしまった様な感じがある。それは南部川村の人の共通した思いだと思う。
- 平仮名にすれば重みがなくなる様な気がするし、漢字にすれば南部川村の人の思いもあろうし、迷います。「南部」の名称は呼びやすいし、じっくりと身についた名称で、これを変えることはないだろうとの自信は持っています。ただ「どうするか」です。
- 「南部」よりももっと読みにくい名称は全国にたくさんある。「南部」と書いて（みなべ）と読むんやと、「南部」の名前を売り出すことは、努力してきたし、また今の我々に責任がある。これは自覚しなければならないと思う。
- アンケートで「川」がついた回答を記入されたのは南部川村の人がほとんどではないでしょうか。結局、寂しさというものがあるのです。しかし、こういう場合は大人社会の社会通念とか物の道理だとか、そういう考え方をしなければどちらにも決めにくいものではないでしょうか。「南部」というのは、

八丁田んぼも「南部平野」梅林も晩稲にあるけど「南部梅林」、河川の名前も「南部川」、高速道路インターも「南部インター」です。平仮名の発想は足して２で割る発想ではないでしょうか。それよりも小学校の名前で残る「上南部」「高城」「清川」とかの名称を将来大事にしていきたいと思います。

・ 漢字と平仮名、両方に魅力があるし両方に言い分がある、両方とも良いなと思うくらいなので、ここは合併協議会で委員のご意見を聞いて、その上で再度専門委員会を開く方法を考えてはいかがでしょうか。そうすることが、アンケート結果の尊重にもなるのではないでしょうか。

専門委員会でのまとめ

専門委員会での意見・議論の概要は上記のとおりです。

新町の名称の選定は合併協議において最重要事項であり、また、より多くの人の意見を拝聴したいことから、委員の提案にもあるように第４回合併協議会では今回の専門委員会での議論の内容を報告し、合併協議会委員のご意見をお伺いして、その上で再度、専門委員会を開くということになりました。